



公益社団法人  
滋賀県理学療法士会

ニュース

No. 228 (2026-2)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2026. 2. 1

発行者：(公社) 滋賀県理学療法士会  
〒527-0145  
滋賀県東近江市北坂町 967  
びわこリハビリテーション専門職大学内

編集者：高田 雄太 (公立甲賀病院)  
大谷 明日輝 (公立甲賀病院)

印刷所：(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

## これからの10年に向けて

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年は士会創立50周年を迎え祈念式典と関連事業を行いました。お陰様で事業は記念誌の発行を残すのみとなりました。式典、祝賀会にご参加いただきました皆様、準備に関わってくださった会員の皆様にはあらためて感謝申し上げます。さて、2026年は新たな10年が始まります。理学療法士を取り巻く環境はこの50年の間に大きく変わりました。介護保険制度、回復期リハビリテーション病棟、疾患別リハビリテーションなどの診療報酬制度など、元々なかったことが始まり、それに対して先輩たちは常に対応し、現在のようなリハビリテーション提供体制が出来上がったと思います。私が理学療法士になった頃には作業療法士や言語聴覚士が勤めている病院は極めて少なく、その業務を理学療法士がカバーしないといけないことが多かったと思います。現在はリハビリ職のみならず、管理栄養士、臨床工学技士、薬剤師など多くのメディカルスタッフと協働して業務を進めていく時代になりました。現場には20歳代、30歳代の若い理学療法士の方が多いたと思いますが、今の環境が昔からあるわけではなく、短期間の間に急速に変化してきたと理解していただきたいです。これから10年、20年の間にも環境が大きく変わっていくことは充分ありえます。少子高齢化、人口減少、物価高、医療経営の悪化など社会を取り巻く環境はなかなか改善の難しい課題が山積みであります。政府も様々な施策を打ち出してくると思われれます。我々はいかに柔軟に対応できるかが問われるでしょう。環境の変化もありますがこれからの10年、理学療法士にとって良い時代になるか否か、将来にわたって生き残れる職業になるかは我々自身の努力も必要です。理学療法士一人一人が切磋琢磨し全うな働きをしないと将来は安泰とは言えません。士会役員も高齢化が進んでおり、世代交代が必要です。今年は役員改選の年です。少しずつでも若い理学療法士が役員としてこの業界を引っ張っていただきたいと願うばかりです。自分たちの業界は自分たちで発展させるといった意気込みを持って取組んでいただくことを期待します。

理学療法士は資格制度ができて約60年、まだまだ認知度は低い職種です。団体としても職種としてもまだまだ若輩です。多職種の皆様には、ますます連携を深め、あたたかく見守っていただき、時にはご指導ご鞭撻もいただき、共に医療福祉介護の発展に貢献できればと思います。医療福祉介護の現場においても、団体間の連携もますます重要な時期が到来していると感じます。皆様の今後のご健勝とご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。今後ともよろしく願い申し上げます。



公益社団法人  
滋賀県理学療法士会  
会長 平岩 康之

# わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ2025



第79回国民スポーツ大会  
2025年 9月28日(日)～10月 8日(水)

第24回全国障害者スポーツ大会  
2025年10月25日(土)～10月27日(月)



## 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」 報告

スポーツ担当理事 石井 隆

44年ぶりに滋賀県で大会が開催され、滋賀県理学療法士会の会員も少しでも貢献しようと頑張りました。滋賀県理学療法士会創立50周年記念式典では、三日月知事(代読)より、大会への協力に対してお礼のお言葉をいただきました。

国スポ・障スポが開催されることが仮決定した約8年前から、当会では国体支援部(現スポーツ学校保健部)と障がい者スポーツ支援部を立ち上げ、スポーツに対する活動を展開してまいりました。国体支援部(後にスポーツ支援部へ改名、現スポーツ学校保健支援部)では、滋賀県選手団でトレーナーとして活動できる会員を育成するため、研修プログラムを作成、系統的に研修会を実施してまいりました。

障スポにおいては、滋賀県国スポ・障スポ大会局より、当士会に14競技会場で7競技会場のコンディショニングルームの運営委託をされました。滋賀県理学療法士会創立50周年記念の関連事業として位置づけ、前年度より、プロジェクトチームを立ち上げ、各会場チーフ/サブチーフや障がい者スポーツ支援部部員を中心に進めてまいりました。

### 参加概要

#### 1) 国スポ大会

- 滋賀県選手団付きトレーナー(12競技以上で18名以上)、
- 大会スタッフやメディカルスタッフ(4競技以上で4名以上)

#### 2) 公開競技(バウンドテニス) 特別競技(高校野球 硬式・軟式)

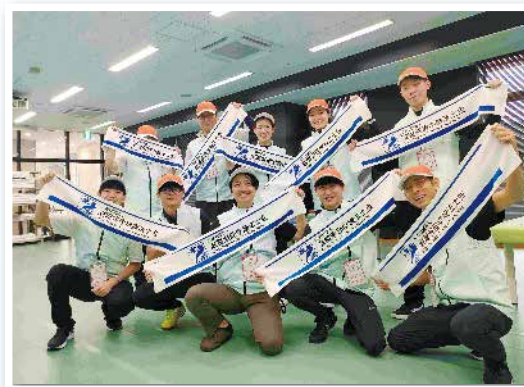
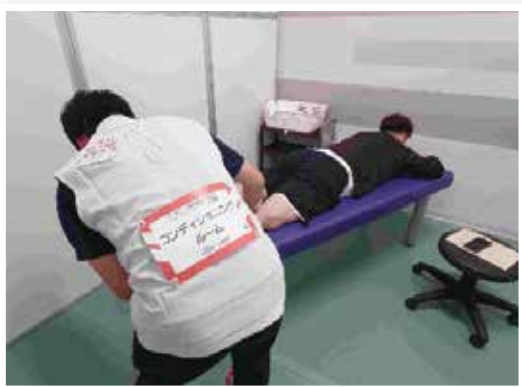
- 大会救護・スタッフ(5名以上)

### 3) 障スポ大会

- 滋賀県選手団 選手 (1名以上 陸上等)
- 滋賀県選手団付きトレーナー (3競技以上3名以上)
- 滋賀県選手団付きスタッフ(4競技4名以上)、大会本部スタッフ (1名以上)

### 4) 障スポ大会コンディショニングルーム

- 陸上・水泳・卓球/STT・ボッチャ・バスケ/車いすバスケ・ソフトボール・サッカーの7競技会場を担当
- 総勢79名の会員が、3日間にわたって789名の選手にコンディショニングを実施。
- 従事した会員へのアンケート (回答65名) から
  - ・今回 障がい者スポーツに関わったのは ➡ 初めて80% 5回以下が13.8%
  - ・職場の理解が大いにあった・あった ➡ 78.5%
  - ・従事して良かった ➡ とてもそう思う80% そう思う20%
  - ・従事して良かった点は? ➡ 従事者同志の交流ができた 87.7%  
障がい者スポーツに関われた 81.5% 選手との関わりが持てた 73.8%
  - ・パラスポーツ選手に対するコンディショニングに今後も関わりたい
    - ➡ とてもそう思う41.5% そう思う43.1%
  - ・理学療法士会から、障がい者スポーツに関わるお誘いをした場合
    - ➡ ぜひ参加したい21.5% 日時や場所、待遇が合えば参加したい67.7%



## 第12回 施設対抗フットサル大会が開催されました！

2025年12月7日、湖南市にある甲賀高分子スタジアムにて厚生部主催の施設対抗フットサル大会を開催しました。予定していた11月9日が雨で順延となったため、当初の参加予定の13チームが6チームに減った中での開催でした。また、会場予約の関係で12月開催となつてしまい寒さが心配されましたが、晴れ間が差す比較的暖かい天気にも恵まれた中で開催することができました。

今回は、トーナメント戦は行わずリーグ戦の成績による順位決定とし、参加の6チームが総当たりで白熱した試合を繰り広げました。例年同様、大会特別ルール（スライディング禁止、女性へのボディコンタクト禁止、女性得点2倍など）に加え、外部審判員にジャッジしていただき、ゲームを進行しました。

結果は、4勝1敗の勝ち点12で済生会滋賀県病院チームが昨年に続く連覇を成し遂げられました。続く2位には、3勝1敗1分の勝ち点10で、過去に優勝経験のある公立甲賀病院チームが入りました。また、参加チームによる投票で決まるグッドチーム賞には、甲西リハビ

リ病院が選出されました。

今大会の交流イベントは、同じ会場で開催された国スポ・障スポのデモンストレーションスポーツであるウォーキングフットボールを体験していただきました。ウォーキングフットボールは、フットボールの母国である英国で生まれた運動医療や健康増進を目的としたスポーツで、名前の通り走らずに歩いて行うサッカーです。年齢や性別、サッカー経験の有無、障がいの有無に関わらず誰もが楽しめるスポーツで、「走らない」以外にも「ぶつからない」、「ボールを奪わない」といった思いやりルールがあるのも特徴です。

リーグ戦終了後、ウォーキングフットボールの普及活動もされている石部フットサルクラブの方からルール説明をしていただき、各チーム2試合ずつ競技しました。速足で歩くのも反則の可能性が高いため、歩くテンポもレクチャーしていただきました。その他、ボールの保持は6秒以内であったり、保持しているボールを奪ってはならない、ボールを浮かしてパスしてはならない等のルールが解説されましたが、何より



集合写真



第12回 施設対抗フットサル大会 順位表

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点
1	済生会滋賀県病院	12	4	0	1	5
2	公立甲賀病院	10	3	1	1	3
3	東近江総合医療センター	7	2	1	2	2
4	水口病院	6	2	0	3	-5
5	甲南病院	4	1	1	3	-2
6	甲西リハビリ病院	4	1	1	3	-3

も反則は基本的にセルフジャッジ（選手の判断・自己申告）に委ねられているということに驚きました。フットサルの試合に出ている選手は物足りなさを感じたかもしれませんが、子供さんがワントップで複数得点されたりと普段のフットサルとは違った和やかなゲームが体験できた

と思います。

来年も第13回目の大会開催を予定しています。人数がそろわない場合も連合チームでの参加もかまいませんので、多くのチームのご参加をお待ちしております。

厚生部



リーグ戦 対戦風景



交流イベント ウォーキングフットボール



優勝 済生会滋賀県病院



グッドチーム賞 甲西リハビリ病院

## 第41回 滋賀県理学療法学会 開催のご案内

**開催日** 2026年7月12日(日)

**会場** 米原市役所 コンベンションホール 会議室 3A・3B・3C

**テーマ** 標準化と個別性の往還

**学会長** 前川 遼太(近江温泉病院)

**準備委員長** 太田 香穂理(ケアセンター蒲生野)

**演題登録期間** 2025年11月9日(日)～2026年2月15日(日)

**学会HP**

<https://www.shigagakai2026.com/>



**SNS**

X : @shigagakai2026

Instagram : @shigagakai2026



## 2026年度滋賀県理学療法士会活動助成事業のお知らせ

### 応募要領

協会指定研究として「県民の健康増進に関わる研究」1編、助成事業要綱の内容に関わる研究1編を募集します。

助成事業要綱(滋賀県理学療法士会ホームページよりダウンロード可能)の内容を確認の上、研究活動助成申請書を作成し提出してください。

研究はどの課題を選択したのかを記載し、①研究の目的、②方法、③予想される結果、および④仮説とそれに対する考察等を1000字程度にまとめ所定の用紙に記入して提出してください(原稿には①～④とわかりやすく見出しをつけること)。

また、研究発表までのおおまかな研究計画予定(タイムスケジュール)および研究に必要な経費(基本的に8万円まで)の概算を所定の用紙(様式1～3:滋賀県理学療法士会ホームページよりダウンロード可能)に記入してメールにて申請書類を提出してください。

**提出先** ptkyouikubu@yahoo.co.jp

**応募締め切り** 2026年5月31日

### 審査

- 1) 2026年6月
- 2) 基礎・臨床及びその他の分野の研究を各数編選出し、1編につき基本的に8万円以内の助成を行う。
- 3) 審査結果は本人宛に通知を行う。

### 研究助成該当者の責務

選出された研究該当者は、第41回滋賀県理学療法士学会にて、その成果を発表する。また、滋賀県理学療法士会学術誌「湖都第46号」に掲載する論文を投稿する。それまでに教育部の許可なく他誌への投稿はしないこととする。

問い合わせ先 大津赤十字病院 リハビリテーション科 中川竜徳

TEL : 077-522-4131 (ご応募を迷われている方は、どうぞお気軽にご相談ください。)

# こ ん な 本 読 み ま し た



並河 孝

## 本の名前：『疲労回復の話』

監 修：梶本修身（かじもとおさみ：東京疲労・睡眠クリニック院長）

価 格：900 円（+税）

出版社：日本文芸社

『図解眠れなくなるほど面白い』シリーズです。疲労は毎日といってよいほど体験しているが、どこからきているとかは明確に書いた書籍は少ない。「仕事が忙しかったから運動して汗流して帰ろう」とか、「帰りにスーパー銭湯でリフレッシュしよう」とか日頃の会話で頻繁で言われているが、結果はあまり述べられていない。逆に疲れが増えたのではないかと思われる。それなら栄養ドリンク、いやビールと思われるが効果はイマイチ？ 著者は疲労と睡眠の専門医、疲労回復の第一人者から新常識を学んでみましょう。疲労の原因は疲れているのは体や筋肉ではなく、実は『脳』なのです。より詳しくいうと自律神経が疲弊しているのです。つまり自律神経のバランスを整えることが疲れ回復の一番の近道です。その疲れをとるには、昼間の活動によってダメージを受けた脳細胞の老廃物を取り除き修復・回復を図るのです。つまり脳の老廃物を取り除き、脳を休める睡眠が最も効果的で特効薬なのです。そうは言ってもただ眠るのではなく、質の良い睡眠です。日本人は世界の先進国の中で睡眠時間が一番短いので有名です。原因の一つに長時間勤務・スマホの過剰使用が言われています。長いだけが良いものではありませんが、睡眠負債を放置すれば生活習慣病のリスクを高めます。疲労を回復させるには少なくとも6時間睡眠は確保したいものです。快眠を導くための栄養ドリンクやサプリメントも販売されていますが、疲労回復には意味が無いとのことで、逆効果のものもあるとのこと。お酒も同様だそうです。温泉やサウナも疲労回復には逆効果とのことです。やはり、睡眠の質を上げることが疲労回復への近道とのことです。①食事や入浴方法、日常生活のポイントを今すぐに実践すること ②寝室は静かなこと ③快適な温度と湿度を保つことと一般的である。ただし起きた時は朝の光を浴びることが大切である。リハビリ職の我々にとって的確な睡眠指導を行うことは大切であると常に思っている。是非ご一読頂きたい一冊である。



## 第14回 写真コンテスト投票結果発表

厚生部にて企画しました第14回写真コンテスト(作品テーマ:“自由テーマ”)には、合計20作品のご応募がありました。ご応募いただいた会員の皆様、ありがとうございました。

今回の写真コンテストもWEB投票で会員の皆さんに選んでいただきました。結果は以下の通りです。

### グランプリ



『きっと次は大丈夫さ』

株式会社イースト・メディケア・プランニング 東 貴之 さん

## 準グランプリ



「春爛漫」

なかじま内科・整形スポーツクリニック 井上 卓也 さん

## 厚生部特別賞



「わぁ！綺麗だね」

豊郷病院 吉田 環 さん

## 優秀作品



「あなたと車どんな物語がありますか。」

豊郷病院 宮川 琉希 さん



「びわこブルーに染まる」

おした整形外科医院 奥田 幹子 さん



「あわいに掛かるいぶき」

済生会守山市民病院  
長坂 佳馬 さん



「和の輝きの近江神宮」

自宅会員 並河 孝 さん



「落葉」

指定訪問看護 雫 田中 翔平 さん

## 事務局便り

### 情報の更新をお願いします！

異動や退職等で住居を異動されたにも関わらずマイページの変更を行っていない方がおられます。郵送物が届かない等のトラブルがございます為、職場・住居を異動されました場合は必ずマイページの更新をお願い致します。

情報の更新で不明な点がある場合は日本理学療法士協会へ問い合わせをお願い致します。

### 士会からの郵送物の配送先について

士会からの郵送物に関して職場ではなく自宅への配送に変更を希望される方がおられます。県士会では職場を登録していただいております方は郵送料の観点から原則として職場へ郵送することになっております。また、職場の登録を削除されますと生涯学習の分野において支障が出る可能性があります。

会員の皆様には不便をお掛け致しますが、職場への郵送となります事にご理解とご協力をお願い致します。

### 会員個人へのメール配信開始のお知らせ

昨年よりブラストメールを活用し県士会の情報を会員の皆様へ配信させていただいております。配信を希望される会員の方はマイページのメールアドレスの登録をお願い致します。ご理解とご協力をお願い致します。

## 滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

(a)は@に置き換えてください

### 事務局 公文書発行 発送物関係 ホームページ原稿受付

jimukyoku(a)shiga-pt.or.jp

担当：池谷 TEL/FAX: 0749-46-0001

※お問い合わせ等は、できる限りメールにお願いいたします。

※会員への配布物については、ブラストメールにて対応しますので、PDFでお送りください。

### 入会、異動、休会

異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになっています。

<http://www.japanpt.or.jp/>

### 財務関係

keirijim(a)shiga-pt.or.jp

担当：滋賀医大 平岩 川波 TEL/FAX 077-548-2670

### 士会ニュース原稿受付 広報部

shigaptnews(a)yahoo.co.jp

担当：公立甲賀病院 西村

### 介護報酬部

ptkaigohokennbu(a)yahoo.co.jp

担当：医療法人田代クリニック 片岡

### 診療報酬部

namie(a)kou-sei-kai.or.jp

担当：琵琶湖中央リハビリテーション病院 浪江

※お問い合わせ等の際には、メールの件名に「診療報酬部への問い合わせ」と明記してください。

### 生涯学習関係 生涯学習管理部

h-kawasaki(a)pt-si.aino.ac.jp

担当：びわこリハビリテーション専門職大学 川崎

TEL 0749-46-2311

### 厚生事業関係 厚生部

ptshiga\_kouseibu(a)yahoo.co.jp

担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

### 公益事業部

shigapt\_k\_mk2016(a)yahoo.co.jp

担当：甲賀市立信楽中央病院 岸本

### 障がい者スポーツ支援部

ptshiga.parasports(a)gmail.com

担当：医療法人かさほら医院 石井

### 教育部

ptkyouikubu(a)yahoo.co.jp

担当：大津赤十字病院 中川

## 編 集 後 記

本誌が、県内の仲間同士が学び合い、つながり合うきっかけになれば幸いです。次号も皆様の現場に寄り添う情報をお届けしてまいります。

T.Y

# 揺るがない医療人へ



びわこリハビリテーション  
専門職大学

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967 TEL:0749-46-2311



<本学HP>